

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.6.10

No. 22

学校の一目惚れに注意！



ある県外の学校の同じ科を本校の生徒達が数人希望しています。昨年も同様に一つの学校に生徒が集中していました。この生徒達にどうしてそこを希望したかを聞いたところ「見に行ったら設備が非常によかった」とのこと。一部の生徒は他の学校も見たようですが果たして全員がそうなのかは不明です。

見比べて決めた生徒はよいのですが、きちんと自分の目で見て比べずに他の生徒の話に引きずられて決めたとすれば少し心配になります。現地に行き、現場と現物を見て決めることが大切です。

皆さんの中には一箇所だけ見て学校を決めてしまう生徒がいがちです。一箇所だけ見ると非常によいように見えても、実は他と見比べるとそれぞれに長短が見えてきます。遠くの学校に何力所も足を運ぶのは面倒かもしれませんが、世の中実際に入ってみると当初のイメージとは異なることは沢山ありがちです。これから2年ないし4年間世話になる学校を、きちんと比較検討せずに入り、後で後悔しても遅いです。

本校に来校した同じような分野の学校の先生にお聞きしたところ、「一つの学校から多数来ると就職の時に、全員が地元に戻ろうとすると、職を探す時にかち合い大変になります」とのこと。進学希望者は今オープンキャンパス等に参加し始めていると思いますが、くれぐれも一つの学校だけを見て一目惚れをしてしまわないように注意して欲しいものです。少なくとも2校は見決めて下さい。ましてパンフレットだけで決めないようにしましょう。

求人やや上向きか？ だが全員の求職は満たされない！

企業回りをしていると、今年の求人は昨年に比べてやや上向いているように思われます。しかし多くの企業は景気の先行きに不安を抱きかなり慎重でもあります。そのために昨年の極めて厳しかった状況はやや解消されますが、おそらく求職者全員の職がまかなわれるだけの求人が第一次であるかは疑問です。

また企業は求人数を仮に2名と出しても、それはあくまでも会社の求めるような優秀な人材が集まれば2名採用するが、基準に満たない場合は0も有り得るという意味も含まれていることに注意する必要があります。使えない者まで抱え込むほど今の会社には余裕がありません。

最近3年生の様子を見てみると、この時期になっても少し考えが甘いのではと感ずることが少なくありません。もう少し目の色が変わり真剣さが出て来なくてはいけない時期のはずなのに、残念ながらそれが感じられません。



企業は6月16日までにハローワークに求人表を出し、それが第一次の求人として7月1日に冊子になり皆さんの手元に届きます。就職希望者にとっては、進路決定の時期が間近に迫っていることをもう一度自覚し、今やるべきことに集中して欲しいものです。